

航路標識事業評価監視委員会（平成23年度）

議 事 概 要

1 日 時

平成24年2月13日（月）～平成24年3月8日（木）

2 場 所

持ち回り審議による

3 委 員

今津委員、喜多委員、澤田委員

4 議 題

（1）委員長互選

（2）平成18年度に整備を完了し、運用を開始した事業の対応方針（案）について

（3）その他

5 議事概要

（1）委員長互選

委員の互選（書面決議）により、委員長に今津委員が選出された。

（2）平成18年度に整備を完了し、運用を開始した事業の対応方針（案）について

事後評価対象1事業について審議した結果、対応方針（案）等については全て了承された。

（3）その他

特になし。

航路標識事業評価監視委員会委員名簿

(五十音順、敬称略)

今 津 隼 馬 東京海洋大学理事・副学長

喜 多 秀 行 神戸大学大学院教授

澤 田 修 治 測位航法学会理事

平成 18 年度に整備を完了し、 運用を開始した事業の事後評価概要

1. 本年度の事後評価対象事業

事後評価を実施する対象事業は、「航路標識が運用を開始した時点から 5 年の期間が経過した事業」とされており、今年度は平成 18 年度に整備を完了し、運用を開始した 1 事業（沖ノ鳥島灯台）が対象となる。

2. 事業の評価手法

評価は、航路標識整備事業の費用対効果分析マニュアルに基づき、費用便益分析等の手法により行った。

3. 費用便益分析

事後評価手法により実施した 1 事業の費用便益分析結果は、対応方針（案）等一覧のとおりである。